

# 一般質問の概要

令和6年第3回 二宮町議会定例会

○9月12日（木）午前9時30分～

（前田憲一郎、羽根かほる、古谷健司、野地洋正 各議員）

○9月13日（金）午前9時30分～

（渡辺訓任、大沼英樹、小林幸子、松崎健 各議員）

※質問日及び質問の順番は9月2日の議会運営委員会で決定となりますので、変更となる場合があります。

※両日とも2番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となります。

No	質問予定議員	質問概要
1	前田 憲一郎 議員	<p>子どもたちをまん中にした学校教育が行われているのか (放映件名：子どもたちをまん中にした学校教育について)</p> <p>「にのみや学園」が開校され1年半。子どもたちを真ん中にした学校教育が展開されているのか疑問に感ずる。地域の独自性があるやもしれないが、一つの学園として設置している以上、どの学校に通っていても5校同一の目標、経営方針の下、子どもたちを真ん中に置き、子どもたちの権利を最大限に尊重し、意見をすい上げ、学園の校則・ルール等を子どもたち自ら考えさせ、一人も取り残さない、誰もかれもが通いたくなる未来に向け大きく羽ばたける子どもたちを育成する教育をつくり上げていくべきである。しかし、実際は不登校に陥る児童生徒が年々増加しており、取り残されていく子どもたちが増えている。二宮町各学校の教育方針・運営等方向性や学校を統括する立場にある教育委員会のかじ取りに疑問を感ずる。小学校では2022年度から教科担任制が導入され、小学校5, 6年生の外国語、理科、算数、体育において、中学校、高等学校の専門の免許を持っている方や、教科の特性を踏まえた上で特別免許状を活用した教科担任制が導入されつつあるが、にのみや学園の小学校では専門の免許を持った教師による教科担任制が導入されているのか。9年間の一貫教育を見通した教科担任制の在り方について検討されているのか。施設一体型小中一貫教育校の開校はいつになるのか。学校の大規模改修や部活動の地域移行は進んでいるのか。そこで次の要旨について質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. にのみや学園9年間の一貫教育を見通した教科担任制の在り方についての検討をされ、適確な導入がなされているのか。</li><li>2. 施設一体型小中一貫教育校の開校予定は。</li><li>3. 学校施設の長寿命化のための大規模改修に関しての考えは。</li><li>4. 部活動の地域移行へ向けての進捗状況は。</li></ol>

ラディアン周辺行政機能等集約計画及び今後の財政見通しについて  
(放映件名：行政機能等集約計画及び財政見通しについて)

令和6年6月に公表された「ラディアン周辺行政機能等集約基本設計業務」は役場新庁舎整備、生涯学習センター「ラディアン」の大規模改修、新たな建設となる「福祉会館」と2つの施設の新築、1つの施設を改修していく計画であり、町民にとって、役場での手続き、日常の生活に密着をしている図書館施設や、福祉サービス等において重要な役割を果たす機能の変化である。また、新庁舎整備では南海トラフ地震の発生可能性が高まった時期もあり、防災面での緊急性も必須と考える。スピード感を持って進める計画である一方、多額の事業費も発生するこの計画の詳細、また、この計画に至った経緯や背景、今後の財政見通しについて、不明な点を明確にすること、また町民の不安や疑問点をできる限りこの場で明確にするために、以下の点について問う。

1. 「ラディアン周辺行政機能等集約計画」策定に至った経緯
2. 新庁舎整備について
3. 生涯学習センター「ラディアン」の改修計画について
4. 福祉会館について
5. 計画の事業費と財政見通しについて

2

羽根 かほる  
議員

1、二宮町職員の人材の確保・育成について  
 2、職員人件費を常に経費単価に加えて計算すべき  
 3、新旧対照表を条例本文に  
 (放映件名：二宮町職員の人材の確保・育成について)

1、二宮町職員の人材確保・育成について

複雑多様化する町民ニーズや高度な行政課題の解決には、人材の確保と育成が極めて重要である。このことから、人材確保については、新卒者以外にも、高度または専門的な知識や経験、技能を持つ民間企業等職務経験者など、町の施策実現に向け、多様な人材を獲得できるよう取り組まなければならない。

そのための採用活動として町のHPや就職支援サイトへの掲載のみならず、受験者確保が困難な技術職、資格専門職が利用している求人案内への掲載などにより、二宮町の魅力をアピールし受験者確保に結び付けなければならない。

また採用試験では受験者ニーズを的確に捉え従来の試験方式だけではなくSPI等を導入して受験者の負担軽減等を行い、受験者を増やし優秀な人材の確保を図らなくてはならない。

次に、人材育成については、職員のスキルアップを図るため、職場研修はもとより、外部の研修機関や神奈川県等への派遣を行うことで、多様な価値観や専門性の高い知識を習得させ、職員の育成を図るべきである。加えて、職員が自らの能力・適性を踏まえ、どういった職務に就き、何をしたいのかを自己申告してもらい、職員の今後を見据えた計画的なジョブローテーションにより、自分自身のキャリアデザインを持てるよう、また、広域的な視野で仕事に取り組めるよう、職員の育成に努めるべきである。職員が自ら高いモチベーションを持ち、職員自身が働きやすさを感じながら仕事に取り組めるよう、ワークスタイルの変化に合わせた多様で柔軟な働き方ができる職場環境の整備を進めて行かなければならない。そこで、町としていい人材を確保・育成するために、どのように取り組んでいるのか、以下の質問を行う。

○人材確保・育成について

- ① 職員の採用人数と中途退職者の数
- ② 二宮町職員の給料は、近隣の普通地方公共団体と比較して多いのか。
- ③ 特に、新人職員の初任給は他市町村と比較してどうか。
- ④ 地域手当は、近隣の普通地方公共団体と比較してどうか。
- ⑤ 時間外勤務の状況は、減ってきているのか。他市町村と比較してどうか。
- ⑥ 年次有給休暇の取得率は高くなってきているのか。
- ⑦ 研修状況は、特に新人職員に長く勤めてもらうために、どのような研修を行っているか。
- ⑧ 辞める理由は。
- ⑨ 人事異動意向調査（ヒアリングシート）の調査内容、調査結果。結果から何が分かるか。
- ⑩ 職員提案制度（自己申告制度）について
- ⑪ 辞めさせないための働き方改革（モチベーションを保たせる）として何を行っているか。
- ⑫ 何年ごとに異動しているのか。「福祉に8年いられる選任職制度を行い、職員内で募集」等他市町村で行っていたが、何かモチベーションを高める政策を行っているか。

○職員採用試験の実施状況について。

- ⑬ 職員採用試験の実施状況について。直近5年間を。
- ⑭ 今年の試験日が、10月13日（日曜日）と他の市町村より遅いが、どういう考えか。
- ⑮ 現在の試験方法は。
- ⑯ 土木、建築、電気等専門職の採用はしないのか。できないのか。来ないのか。

⑰ 受験者数を増やすために、SPIを導入して、SPIで1次試験を行い、ウェブ面接で2次試験を行い、三次試験で初めて二宮町に来てもらい、数式や論文の筆記テスト、対面による面接を行う。受験しやすくすることで、受験者の負担を軽減する試験ができないか。

## 2、職員人件費を常に経費単価に加えて計算すべき

デジタルDXが推進されると、様々な業務が職員の手を離れ機械に移行して行く。その様ななか、二宮町においても、費用対効果を勘案し、その業務は果たして職員が行った方がいいのか、それとも他に委託していくのか、常に検討していかなければならない。そしてこれら費用対効果を考える際には、職員人件費を加えた本来の経費で考えていくべきである。

そこで、以下の質問を行う。

- ⑱ 二宮町が職員を雇用するために必要な経費を勘案した時、職員1人当たりの一日の人件費は、幾らぐらいになるのか。
- ⑲ 本来、町民に対するサービスの価格は、町民に支払ってもらう自己負担金額と、サービスを行った職員の時間当たりの人件費を足した金額である。そうした時、例えば住民票を1通取るのにかかる費用はいくらになるのか。
- ⑳ 昨年の予算特別委員会でも質疑したが、コンビニでの住民票の単価は、コンビニへの手数料も加えるといくらか。
- ㉑ 日曜の開庁業務は職員が対応しているとのことだが、何時間働いて、勤務費用はいくら支払っているのか。休日出勤の振替え休暇は当然もらえるのか。(休日の日直業務)
- ㉒ 日曜の開庁業務は、実際にどのような業務を行ってもらっているのか。業務だけでなく、責任のある重要な職務があるのではないか。

## 3、新旧対照表を条例本文に

- ㉓ 条例改正の時の改め文は、専門的知識を必要とする。そしてどこの市町村でも、本会議で議員に提案理由の説明をする時、改め文の他に新旧対照表を作り、その新旧対象表で説明している。新旧対照表は町民にも非常に分かりやすい。すでに鳥取県をはじめ、10府県以上が採用し、100市町村以上が採用しているが、新旧対照表を条例本文にしてはどうか。

「ラディアン周辺行政機能等集約事業」その2  
(放映件名：ラディアン・図書館はどう変わる)

令和6年第2回定例会一般質問において、「役場新庁舎整備事業の失敗はもう許されない。あらゆる手段をもって町民への周知を図り、予算計上はその後」と意見した。

その後6月19日、「ラディアン周辺行政機能等集約基本設計」を公表し、その整備にかかる「スケジュールと財源計画」「今後10年間の財政見通し」を示し、町民意見募集を締め切ったわけだが、現在までにどのように町民への周知を図り、そして町民はどのように受け止めているのだろうか。

今回は、質問件名を「ラディアン周辺行政機能等集約事業」その2とし、役場新庁舎に加え、町民の関心が想像以上に高かった、予算16億8千万円と高額な「生涯学習センターラディアン大規模改修」の詳細を確認するとともに、今後どのように進めていくかを確認する。

【要旨】

1. 「ラディアン周辺行政機能等集約基本設計」公表後の町の動き、町民の意見、質問等および今後の予定
2. 「生涯学習センターラディアン大規模改修」の必要性

4

野地 洋正  
議員

**紙の健康保険証を継続して使いたい  
(放映件名:紙の健康保険証を継続して使いたい)**

今年12月2日で、政府は、今使っている紙の健康保険証を廃止するとしています。マイナンバーカードを持たない、または、マイナンバーカードを持っていても保険証として登録をしていない場合、どのようになるのかとの心配や、マイナンバーカードを持たなくてはならないのか、などの声が聞かれます。

皆保険制度のもとで健康保険証は誰もが交付を受ける必要がある一方、マイナンバーカードの取得は任意とされており、マイナンバーカードの保険証としての利用は、元々が矛盾するものです。紙の健康保険証が廃止されることで何が変わるのか？また、保険者としてどのように対応されるのかなど、以下のように問います。

1. マイナンバー保険証は、マイナンバーカードの保有者が健康保険証にひも付けをすることで利用可能になるとされている。マイナンバーカードの保有率また、すでにマイナンバーカードの電子証明書の更新を迎えている方がいると思うが、更新の状況はいかがか。
2. マイナ保険証について、利用率など利用状況はどのようになっているか。
3. 12月2日に、紙の保険証が廃止された後、紙の保険証しか持っていない加入者はどうなるのか。国民健康保険の保険者として、どのようにしていくのか。
4. 高齢者施設入所者や、訪問介護にあたって、これまでの紙の保険証と同様に、介護者他が扱えるようになるのか。

**ラディアン周辺行政機能集約は原点に立ち返って  
(放映件名:ラディアン周辺行政機能集約は原点に立ち返って)**

6月に新庁舎整備、ラディアンの大規模改修、(仮称)福祉会館の3施設の基本設計が発表された。一昨年(令和4年)2月に出された「新庁舎・駅周辺公共施設再編成計画」から大きく変わっていないとは言え、依然として立地の環境に対する心配が出されるとともに、3施設の総工費が56億円とされたことから、将来の町財政への影響を心配する声も生まれている。円安による工事費の高騰から、総工費を抑えるためか、基本構想から縮小したとを感じる点もある。今回提案の3施設整備が町民の期待に応えるものであるか、さらに、将来の町財政に対する影響について、町の考えを問う。

1. スケジュールについて、(仮称)福祉会館については、着工を遅らせた。本来、社協との福祉部門での連携を強化するという課題に応える面があったと考えるが、なぜか。一方で、ラディアンの大規模改修について、急ぐのはなぜか。
2. ZEBについてはトーンダウンした印象をうける。3施設合せてどの程度のエネルギー消費を見込んでいるのか。太陽光発電として、南北棟で合せて46kWの発電量を見込んでいるが、どの程度をまかなうのか。「Z e b R e a d y」をめざすとしているが、具体的にはどの程度のエネルギー削減をめざすのか。
3. 今回、芝生広場の整備を進めるとしているが、景観の整備はどのように考えているのか。
4. 新庁舎整備後の管理に要する経常経費の見込みはどの程度か。一方、平成29年度の整備手法調査からどのくらいの修繕費を支払ってきたのか。
5. 二宮小学校体育館改修と駅前複合施設整備の見通しはどうか。

以上

5

渡辺 訓任  
議員

**移住推進と都市計画について**  
(放映件名：移住にやさしい町づくりについて)

二宮町には昭和 29 年 5 月に定められた都市計画法 53 条海岸地帯土地区画整理区域・都市計画道路予定区域があります。平成 27 年 9 月策定のマスタープランでは地域の課題という事でいくつかの課題を抱えながらも現在まで都市計画法 53 条の改正は行われておらずマスタープラン改定から 10 年を迎える現在、実情に合わせた変更が必要なのではないかと常々思っています。特に今回、町も認識をしている長期未着手とする「海岸地帯土地区画整理区域」と移住者が求める海岸周辺より良い住環境形成のために今後、刷新されるマスタープランがどのように改訂される予定なのか質問を致します。

**要旨**

1. 現法施行と土地利用の課題について
2. 次期マスタープランの改訂について現時点で考えている内容はあるか
3. 海岸地帯土地区画整理区域と都市計画道路の整備見通しについて
4. 都市計画法と移住・居住促進の整合性について

**多額の財政計画で町の未来は本当に安全か**  
(放映件名：多額の財政計画で町の未来は本当に安全か)

6 月の議会で「複数の建設計画が町の財政にどのような影響を与えるのか」について質問しましたが、計画に関わる金額などについて明確な回答は得られませんでした。そして、質問から 6 日後の 19 日の議会終了後に開催された議会全員協議会で、ようやく財政規模についての説明がありました。この内容は 7 月号の広報にも記載されていますが、発表が遅れた理由には不透明な点があります。また、9 月号の広報にのみやに掲載された部屋割り平面図では、町長室や副町長室の記載がなく公表されています。事実と異なることを伝えるのは虚偽ですが、事実を隠して公開することも悪意のある不記載であり、嘘と同様に感じられます。このような対応では、町政に対する信頼が揺らぐのではないかと懸念しています。

ラディアン周辺だけで 56 億 3 千万円、さらに駅前を含むその他の計画で 82 億円という、通常の一般会計を超える大規模な財政計画は、二宮町の未来に大きな影響を与える可能性があります。全国どこの自治体でも、住民や有権者にしっかりと理解を得た上で、行政施策を進めるための方針を定め、総合的な計画に基づいて個別の計画を策定・実現しています。

二宮町でも様々な資料が作成されていますが、これらの資料が適切に活用され、計画が安全に進められているのかを質問いたします。町民の皆さんに対し、議員として責任ある説明ができるように、情報を意図的に隠すことなく誠実に対応していただきたいと思えます。それでは、以下の質問に移ります。

**要旨：**

1. 6 月の議会で計画内容を示さなかった理由は何か。
2. 広報 9 月号の平面図に町長室や副町長室を記載しなかったのはなぜか。
3. 他の関連計画とどのように整合性を取っているか。
4. 安全で安心な財政計画はどのようなか。

6 大沼 英樹  
議員

子どもの笑顔がかがやく、子育てと教育のまちづくり等について伺う  
(放映件名：子どもの笑顔がかがやくまちづくりについて)

第6次二宮町総合計画。重点的方針には、前期基本計画期間(令和5年度～令和9年度)の5年間で特に重点的に取り組む内容の中で、子どもの笑顔がかがやく、子育てと教育のまちづくり、気候変動対策による持続可能なまちづくり、誰もが自分らしく安全・安心に暮らせるまちづくりと掲げています。

今回は学校教育について、下記2点について伺う。

①新聞報道等で後を絶たないいじめの問題。

にのみや学園においての予防と対策。

②体育館の中の暑さ対策。

7

小林 幸子  
議員



実効性のある施策による、二宮町の合理的な将来設計等について問う（２）  
（放映件名：実効性のある施策による、二宮町の将来設計）

これまで定例会において標記に関する質疑・質問を行ってまいりました。今般新たに「ラディアン周辺行政機能等集約基本設計業務（概要版）および令和６年度二宮町財政見通し」が示されました。これらを踏まえて質問させて頂くことにより、件名に示す通り、今後の町政において、実効性のある施策を講ずることで、この町の合理的な将来設計を促すものです。

そこで以下について問います。

・空き校舎の庁舎利用を巡っては、その前提に一色小学校と山西小学校の統合があります。

とりわけ一色小学校が全学年で単級化していること、今後児童数増加が見込めないことに鑑み、「こどもたちの社会性育成」の観点から、並びに「教員不足解消」「財政負担軽減」の観点から両校は統合すべきと訴え、町長に「学校統廃合政策の財政効果」と題する論文を紹介、町長からは、一人の研究者による１本の論文だけで全てを判断できるわけでもなく、この研究者のかたも比較研究の必要性、職員給与を含めた分析の必要性などを今後の課題と挙げられています。」との答弁がありました。一方、二宮町小中一貫教育校設置計画（案）（R1.5）では、５校維持は財政的負担が大きいとして、「一色小・二宮中を施設一体型小中一貫教育校とすることで大幅に経費節減が見込まれる」としています。この文脈から一色小・山西小の統合が「財政負担軽減」に資することは、前述の論文以前に明らかです。同論文を通して理解いただきたかったことは「統廃合は財政力が脆弱ではできない（余力があるうちにやれ）」という点です。加えて二宮町小中一貫教育推進計画（R4.4）では一色小学校単級化を問題視している点にも鑑み、一色小学校を放置することは無責任と言わざるを得ないがいかかか。

・空き校舎の庁舎利用を巡っては、「役場庁舎に求められる耐震性能を満たすためには、多額の改修費用を再び投じて学校を改修することが現実的でない」との町長答弁があります。何を以て「改修費が多額なのか？」を質してきましたが、執行者側からは「改修に要する予算は新築の７割、アスベスト処理が必要な場合は８割」との説明があるも、算出法に関して納得の出来る説明がありません。余りにもいい加減であり、自身が調査した過去の事例ともかけ離れています。改めて真面目に算出すべきと考えるがいかかか。

・先の定例会一般質問「令和６年５月１９日開催のにのみや気候市民会議はその原則（ポーズでなくライフサイクルCO2を考慮）にのっとって開催されたものなのでしょうか。同会議、二宮町気候非常事態宣言、ゼロカーボンシティの基本的な理念、環境基本計画と令和６年度施政方針に矛盾はないのでしょうか。」に対し、「矛盾はない」との参事の答弁がありました。この答弁に誤りはないか。

・ラディアン周辺行政機能等集約基本設計（R6.6）において、ラディアン整備の事業費１６．８億円を想定しています。二宮町公共施設再配置・町有地有効活用実施計画（R5.3）に示された１０億円からの大幅増額の理由は、

・ラディアンの建物の周辺の地盤沈下の原因を巡っては、「工事と同時にその辺りを掘り返して、埋めているわけです。そのときの地盤の突き固め、あるいは路盤の整備状況、そういったところから不陸が生じているというふうに考えております。」として、「改修工事の際の改良により解消される」との答弁があります。何故、今まで放置していたのか。

8 松崎健  
議員

村田町政の政治姿勢について  
(放映件名：村田町政の政治姿勢について)

新庁舎建設を含むラディアン周辺行政機能等集約基本設計業務を巡っては、町民のためとの説明があります。過去の施政方針には「誰ひとり取り残さないまちづくり」のフレーズが散見されましたが、令和6年度施政方針には見当たりません。「町民のため」とはいえ、何人かは取り残しても構わないということでしょうか。村田町政には少数派を冷遇しても大きな声にはならないとの判断から、少数派、特に弱者を取り残していると思える振る舞いがあり、その窮状が私の元にも届いています。そこで、以下問う。

・町の広報「広報にのみや」が届かず、読むことが出来ない二宮町民がおられます。広報は「誰ひとり取り残さず」届ける責任が町にはあると考えるがいかがか。

・峠公園隣接地の草刈りを巡っては、イノシシの出現も相まって、地権者に対し草刈りを促すよう町に強く要望した経緯がありました。地権者も町の要望があれば応ずる構えを見せていたにも拘らず、町長は「機微に関わる」とのことで動こうとはしませんでした。また、本件を巡り一般質問をした際には都市部長（当時）から「その質問には答えかねる」といった無責任な答弁があり、その様子を町長は黙認。この一連の村田町政の振る舞いは、少数派・弱者を取り残す姿勢と受け取りましたが、改めて当時の村田町長の振る舞いについて説明を求め